

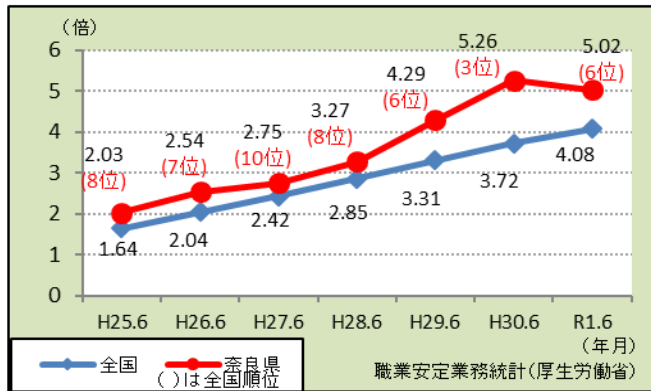
# 介護人材確保対策の強化について

## 奈良県における取組

【担当省庁】厚生労働省

### 1. 介護人材確保の状況

#### ○介護関係職種の有効求人倍率



・本県の介護関係職種の有効求人倍率は、**全国平均を上回る高い水準で推移**しており、依然として人手不足感が強い状態が継続している。

#### ○介護人材の需給推計 (第7期介護保険事業支援計画策定時における推計値)

	需要見込み	供給見込み	不足数
奈良県	31,073人	26,221人	▲4,852人

・令和7年度には、**介護人材の大幅な不足**が見込まれる。

**今後ますます介護人材の不足が進展することが見込まれ、人材確保の取組強化が必要**

### 2. 介護福祉士修学資金等貸付事業について

#### ○県内介護福祉士養成校における新規貸付決定数

		R1実績	R2実績	R3見込	R4見込	R5見込
既設校	定員数	80	80	80	80	80
	新規貸付決定数	7	19	20	20	20
R2年度新設校 (1校)	定員数	-	80	80	80	80
	新規貸付決定数	-	29	※70	65	80
R3年度新設校 (2校)	定員数	-	-	60	60	60
	新規貸付決定数	-	-	30	45	50
新規貸付決定数(合計)		7	48	120	130	150

※R2年度に未入国の留学生7名を含む

**外国人留学生を受け入れる介護福祉士養成校の新設に伴い、修学資金の貸付を希望する者が急増している。**

○奈良県では令和2年度入学生より、介護福祉士の資格取得を目指す外国人留学生の修学支援資金貸与制度を創設。

**今後、外国人留学生の増加が見込まれる。**

## ○介護福祉士修学資金等貸付事業の所要額見込

(単位：千円)

		R2実績	R3見込	R4見込	R5見込
介護福祉士 修学資金	1年目貸付決定人数	48名	120名	130名	150名
	2年目貸付決定人数	7名	48名	120名	130名
	所要額(人数×年間840千円)	46,200	141,120	210,000	235,200
その他 (実務者研修・再就職準備金・事務費等)		31,898	36,000	36,000	36,000
年度支出額		78,098	177,120	246,000	271,200
貸付原資残額 (A)		195,894	18,774	▲ 227,226	▲ 498,426
次年度執行留保額 (B)		40,320	100,800	109,200	126,000
貸付原資実質残額 (A-B)		155,574	▲ 82,026	▲ 336,426	▲ 624,426

○令和2年度に48名に貸付した上で令和3年度に120名の新規貸付に対応するため、令和3年度の貸付原資残額不足については**令和2年度中の増資**が必要

○令和4年度以降も120～150名規模で貸し付けした場合、年度必要額について**前年度の追加増資**が必要

## 国にお願いすること

介護福祉士修学資金等貸付事業において、継続的・安定的に事業が実施できるよう、**貸付原資の積み増しに必要な資金配分**をお願いしたい